

地域別実行計画の検討の進め方

● 地域の皆さんとの協働で地域の計画を策定

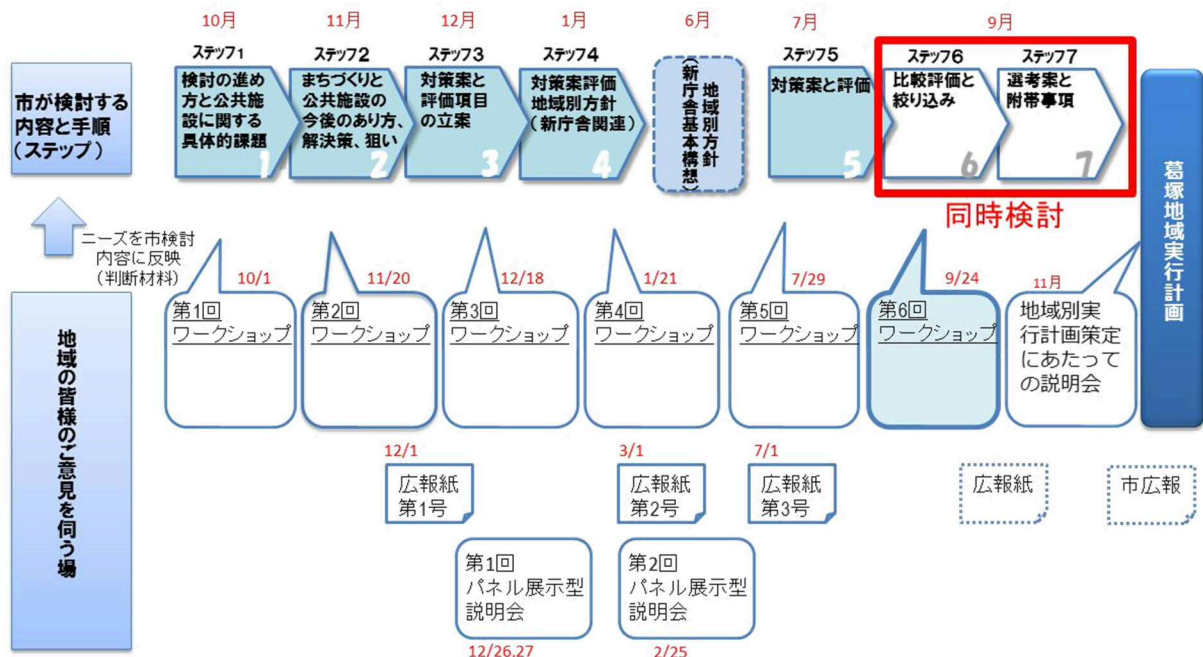
平成27年7月に策定した「財産経営推進計画（公共施設マネジメント編）」では、中学校区を基本単位とした地域ごとに、地域市民の皆さんと協働で、身近な公共施設の最適化に向け、将来のあり方を示す「地域別の実行計画」を策定するとしています。

ワークショップは、この実行計画を策定するにあたり、市民の皆さんと市との協働を実現するための重要な機会のひとつです。

● 検討のスケジュール

市は、ワークショップで得られた成果をもとに、次の7つのステップに分けて検討を行い、「地域別の実行計画」を策定します。

ステップごとに7回のワークショップで検討する予定でしたが、議論が集約されてきたことから、ステップ6・7は、本日の第6回ワークショップで検討します。第7回ワークショップの開催を予定していた11月頃に、地域別実行計画案をお示しし、皆様のご意見をお伺いする場を設定する予定です。



- ※ 市はステップ毎に検討を進め、最終的に葛塚地域実行計画を策定します
- ※ ワークショップ、広報紙、パネル展示型説明会など多様な方法で、市民の皆様とのコミュニケーションを図り、その成果を検討に反映します
- ※ スケジュールは状況に応じて更新します

● コミュニケーション

「地域別実行計画」の検討では、地域の皆さんとさまざまなコミュニケーションを進めていきます。

ワークショップ (WS)

ステップ毎の検討の内容について、参加メンバーの皆様の間でグループ討議を通じてご議論いただき、その成果をとりまとめます。



パネル展示型説明会

(オープンハウス) (OH)

公共施設などで検討の状況を示したパネルを展示し、集まられた地域の皆様に詳しい状況をお伝えします。

広報紙 (ニューズレター) (NL)

ワークショップや市の検討の状況を地域の皆様にお伝えするための広報紙です。

● ワークショップの概要

- ・ **本日のワークショップが最終回の予定です。**
- ・ ワークショップには、コミュニティ協議会の役員、自治会、PTA、地域教育コーディネーター、公共施設利用団体などから推薦を受けた方、新潟医療福祉大学の学生などが参加します。
- ・ 同じ参加者に継続してご参加いただき、議論を深めていきます。
- ・ 参加者の皆さんにグループ討議で自由にご議論いただきます。
- ・ 一般の傍聴者や報道陣が会議を傍聴することもあります。

● 会議の進め方

- ・ グループ討議の運営では、円滑な議論のため、第三者的立場のファシリテーター (司会進行) がお手伝いします。
- ・ ワークショップでは、グループ毎に議論を重ね、会の最後に各グループの議論の結果を発表し、後日、各回の成果として取りまとめます。
- ・ グループ討議の途中での議論は記録を取りませんので、自由闊達で前向きな議論をお願いします。
- ・ 市に対する要望・陳情の場ではありません。

(管理上の都合から会場内で録音・撮影する場合がありますことをご了承ください。)